

中学生・高校生が平和について学ぶ「戦後 80 周年プロジェクト」

6月13日（土）、「長崎・被爆クスノキの植樹式」を行います

一生徒の発案で実現！名古屋市为学校として“初”の取り組み

椋山女学園中学校・高等学校（名古屋市千種区）は、第二次世界大戦後 80 年の節目にあたる 2025 年より、「戦後 80 周年プロジェクト」を立ち上げ、被爆クスノキの記念式やクスノキ募金など、平和について学ぶ取り組みを進めてきました。

その一環として、6月13日（土）に被爆クスノキの苗木の植樹式を行います。この植樹は、生徒の発案により実現したもので、名古屋市内の学校としては初めての取り組みとなります。昨年を実施した記念式で長崎市から譲り受け、生徒たちが大切に育ててきたクスノキの苗木をシンボルとして、平和への思いを未来へとつなぐことを目指します。

本校では、長崎の修学旅行を約 50 年にわたって続けており、修学旅行の事前学習・現地研修・事後学習を通して、戦争について深く学んでいます。本プロジェクトの実施にあたり、第二次世界大戦中の「熱田空襲」において、本校に通っていた生徒や教員が犠牲となった6月9日を『椋山平和の日』と位置づけ、「椋山生と戦争」を切り口に、「原爆投下（被害）」と「なぜ投下に至ったのか（加害）」を包括的に考える機会としています。

6月10日（水）～12日（金）には生徒主導でクスノキ募金も行います。

6月13日（土）の植樹式では、平和の大切さを改めて考え、未来へつなぐ機会となることを目指します。



クスノキ苗木の植樹式について

【日 時】6月13日（土）10:00～10:30

【場 所】椋山女学園中学校・高等学校 ランチルームおよび、校内植樹場所
（名古屋市千種区山添町2-2）

【参加者】名古屋市職員、ピース愛知：松下哲子氏、落合淑子氏、社会科探究同好会の生徒18名、有志生徒30名
（お孫様も椋山女学園に通われる本校卒業生の落合氏は、在学中の戦争体験を生徒に語り継いでくださっている方です）

【内 容】主催者・来賓挨拶、記念植樹、社会科探究同好会の生徒からの言葉 ほか

【当日のご案内（報道受付）】

9時50分に「ランチルーム」までお越しください。（担当者が、会場・撮影スペースまでご案内いたします）

本件に関するお問い合わせ

椋山女学園中学校・高等学校 担当：小川奈保子

TEL：052-751-8131（代表）

メールアドレス：n-ogawa@js.sugiyama-u.ac.jp